

観光4シーズン化の課題と方向性は

町長 滞在型観光の推進とリピーターの拡大が基本



関 千鶴子議員

観光4シーズン化の課題と本町の観光の方向性は

関

地域づくり型観光として取り組んできた観光4シーズン化の課題や本町の観光の方向性を問う。

町長

これからの観光には、量から質への転換の視点が必要で、「見る」「食べる」「体験する」「交流する」をキーワードに、新しい魅力づくりに向け滞在型観光の推進とリピーターの拡大を基本に展開していきたい。



のどか村まつり

天然記念物や文化財の保存は

関

県の天然記念物に指定された桜をはじめ、地域にある文化財の保存への考え方を問う。

教育次長

文化財や天然記念物に指定されても、基本的には所有者や保存会などで維持管理するものだが、町としても必要な支

援を行う考えだ。

町長

地域の方や専門家の意見を聞きながら、保存ということ念頭におき対応したいと思う。

旅行業の取得を検討しては

関

人と人とのつながりや地域にある観光資源をいかして地元密着型の観光を推進するのに、いずれかの機関で旅行業の取得を検討してはどうか。

町長

どこがどういう形でとは言えないが、ぜひ検討材料の一つとしたい。

事務局長は兼任でない方がよいのでは

関

町の観光協会と商工会の事務局長が兼任の状況にあるが兼任でない方がよいのでは。

町長

産業センターを設置して3年。産業戦略会議（商工会、観光協会、JA、アルカディア財団、山形県酪農業協同組合）で情報

交換をしながらすすめ、積み重なってきているなかで、今は兼任ということだ。

観光協会の体制は

関

人材育成という観点からの職員体制の検討や法人格の取得を検討してはどうか。

町長

人材を確保することは非常に大事なところだが、現在の観光協会の収支の不足部分を行政では簡単にいかないだろう。法人格を取得するかしないかの検討はしていく必要があると思う。



滝野交流館にて